

定時株主総会

第122回

FY2025の振り返り & FY2026の戦略的方向性

2026年6月29日 Phillip Lord 最高経営責任者(CEO)

■ 免責事項

本資料は、Bitcoin Japan Corporation（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものです。本資料に記載された情報は、現在の経済情勢、法規制、市場動向その他の各種条件に基づいて作成されています。当社は、本資料に含まれる情報の信頼性、正確性または完全性について、いかなる表明または保証を行うものではありません。また、本資料に記載された情報は、予告なく変更される場合があります。当社の事前の書面による承諾なく、本資料またはその内容の全部もしくは一部を公表、複製、配布またはその他の目的に利用することはできません。また、本資料に含まれる将来の業績等に関する情報は、将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）です。将来予想に関する記述には、「信じる（believe）」、「期待する（expect）」、「計画する（plan）」、「戦略的（strategic）」、「予測する（anticipate）」、「見込む（predict）」、「可能性（possibility）」などの表現のほか、将来の事業活動、業績、出来事または将来の状況に関する類似の表現が含まれます。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく経営陣の判断を反映したものであり、様々なリスクや不確実性を伴います。そのため、実際の業績、事業活動または結果は、これらの将来予想に関する記述に明示または示唆された内容と大きく異なる可能性があります。したがって、本資料に含まれる将来予想に関する記述のみに依拠すべきではありません。当社は、新たな情報、将来の出来事その他の事由により、これらの将来予想に関する記述を更新、修正または訂正する義務を負うものではありません。本資料は、有価証券の売付けまたは発行の申込み、もしくはその勧誘を構成するものではなく、また、その一部を構成するものとして解釈されるものでもありません。。

■ 本総会のストーリー

FY2025は基盤を構築

FY2026は展開を開始

制度的基盤は整いました。次の段階は、1株当たりの長期的な本源的価値を高めるための規律ある資本展開です。

■ FY2025 ・ 振り返り

FY2025はFY2026への道を切り拓いた

既存の堀田丸正事業は最適化を進行中

業務改善とAIによる効率化に注力し、独立して運営。

AIプラットフォームは展開可能に

デラウェア・ケイマン・ドバイの事業体が稼働中。

ビットコイン・トレジャリーは実行可能に

監査人・内部統制・展開ゲートを整備済み。

■ FY2025 ・ 基盤

整った制度的基盤



内部統制

投資に関する
J-SOX体制を強化



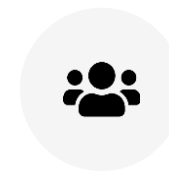
国際的なストラクチャー

デラウェア・ケイマン・
ドバイの事業体



新たな外部監査人

デジタル資産・AI・海外
対応力



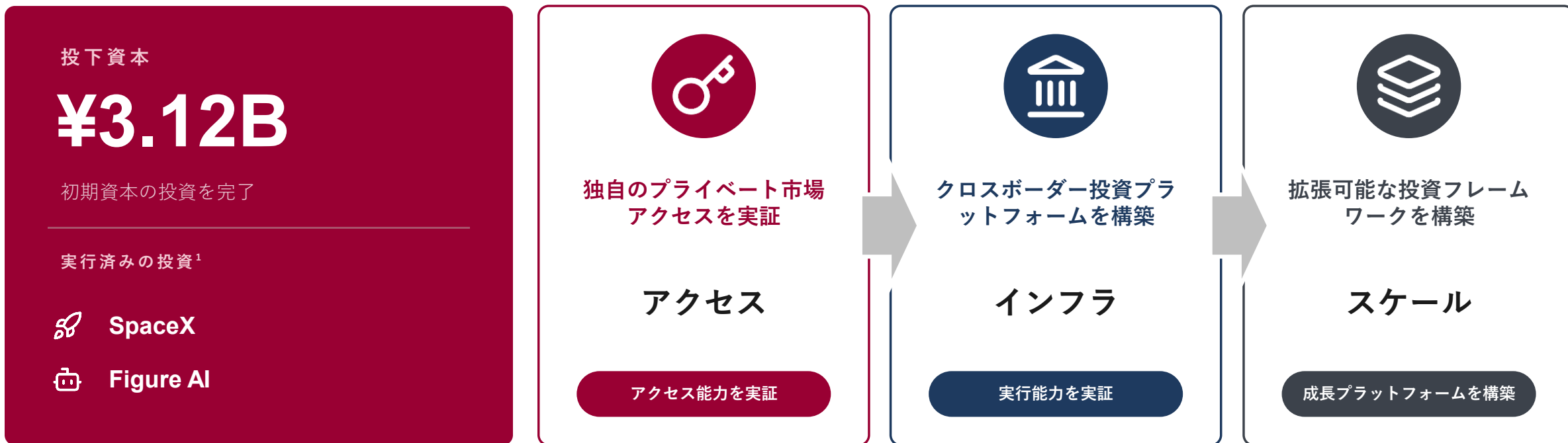
強化されたガバナンス


一流投資銀行・グローバル
法律事務所の知見

当社がこれまで欠いていた基盤的な能力——その一つひとつがFY2026施策の前提条件です。

■ FY2026 ・ 実行段階

戦略から初期の実行能力へ



 これは、再現可能な資本展開エンジンの始まりです。

注:出典：当社TDnet開示資料 | 注1：投資はBTCJPN US LLCを通じて設立したSPV（特別目的会社）経由で実施しています。

■ 資金調達フレームワーク

資本こそが当社の競争優位

当社は、調達に伴う希薄化を上回る長期的価値の創出が見込める、明確に特定された機会に資本を投じられる場合に限り、資金を調達する方針です。



資本規律

資本は、明確に特定された価値創出機会に対してのみ調達します。

- ◎ いつ・いくら・どのコストで調達するかを規律をもって判断します。



独占的なディールアクセス

当社のグローバルな関係が、多くの投資家には開かれていない独自のプライベート市場投資へのアクセスをもたらします。

- ◎ 他社には組成・アクセスできない機会を獲得します。



積極的な資本展開

期待リターンが投資を正当化する領域において、ビットコイン・AIインフラ・事業会社に資本を展開します。

- ◎ エコシステム全体で最も高いリターンが見込める機会に資本を配分します。



ガバナンス

すべての投資は、厳格な取締役会の監督と規律ある資本配分の対象です。

- ◎ 強固なガバナンスが株主を守り、長期的価値を牽引します。

■ 資金調達フレームワーク

当社の資本配分プロセス

1株当たりの長期的な本源的価値を創出できる機会がある場合に限り、資金を調達します。



当社の目的は資金調達ではありません。目的は1株当たりの長期的な本源的価値を高めることです。

資金調達は、その目的を達成するための手段に過ぎません。

■ 資金調達フレームワーク

当社の資金調達ツールキット

希薄化より価値を



行使価額修正 型ワラント

コントロールされた実行と、柔軟な資本アクセス。

11月11日の臨時株主総会にて株主の理解を得られた



転換社債(CB)

低クーポンで、希薄化を後倒し。

11月11日の臨時株主総会にて株主の理解を得られた



転換型優先株式

普通株式の即時希薄化なし。

11月11日の臨時株主総会にて株主の理解を得られた



ライツ オフアリング

既存株主の参加機会と希薄化防止。

多様な資金調達方法を研究・検討中

株主への当社のコミットメント



機動的かつ規律的

資本は、明確に特定された投資機会に対してのみ調達しません。



最も効率的な資本

利用可能な中で最も効率的な資金源を追求します。



希薄化より価値を

新株の発行は、株価の希薄化による低下よりも企業価値が上回る場合のみに行われます



長期志向

市場環境にかかわらず規律を維持します。



株主との利害一致

すべての意思決定は、取引規模ではなく長期的な株主価値で評価されます。



シンプルな判断基準:希薄化は、期待される価値創出がそれを上回る場合にのみ許容されます。

市場環境 と当社のポジション

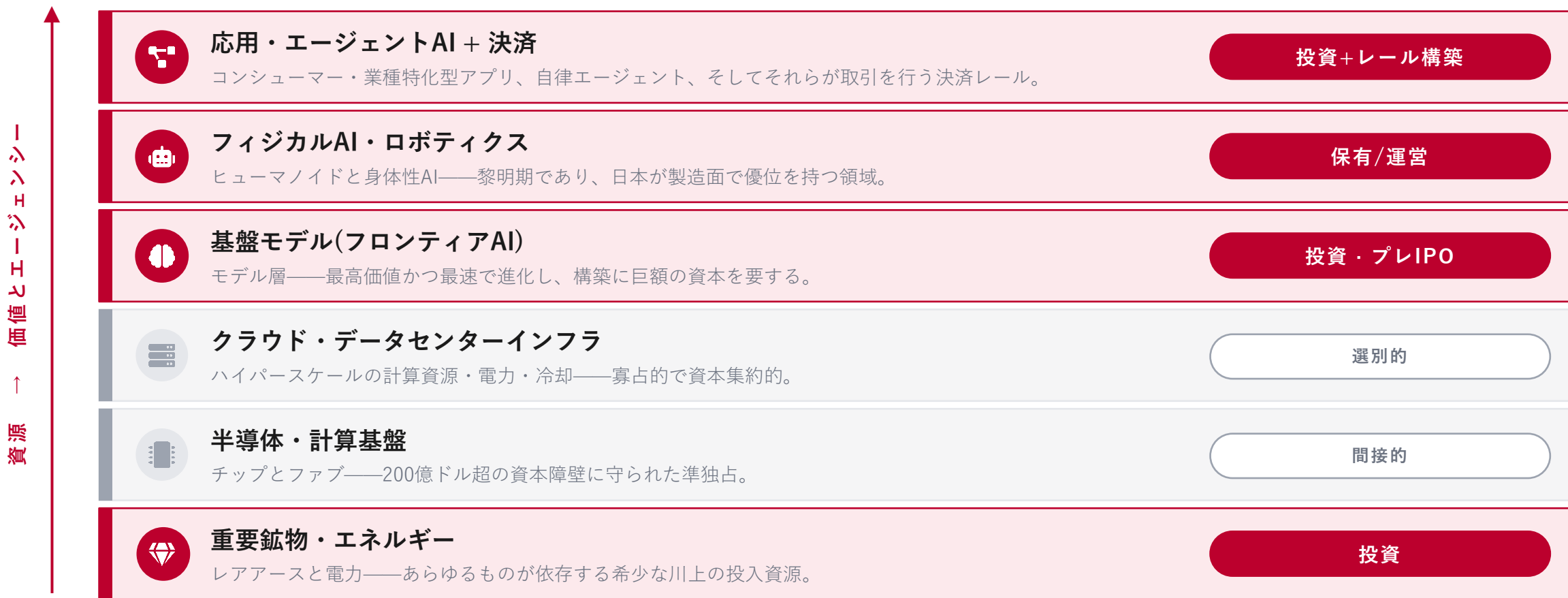


機会はどこにあるのか - そしてBitcoin Japanはそれにどう備えているのか

■ 市場環境 ・ AIバリューチェーン

AIバリューチェーン:資源からエージェントまで

資本効率・成長性・日本の優位性が重なる領域に集中します



■ 投資仮説

日本の優位性

米国ブロック

オープンイノベーションとフロンティアAI

世界的なAI研究のリーダーシップ
厚みのある資本市場
フロンティアモデルとインフラ

日本

**グローバルなAIエコシステムを
橋渡しする戦略的ポジション**

米国とは条約上の同盟国
中国とは実務的な通商関係
安定し信頼される規制環境

中国ブロック

規模・製造・産業AI

大規模な国内AI実装
製造業のリーダーシップ
コスト効率の高いAIイノベーション

■ 投資ユニバース

グローバルAIエコシステム全体における投資機会の例示

フロンティアAI

ヒューマノイド・ロボティクス

防衛・宇宙AI

応用AI

Anthropic US

Figure AI 実行済

SpaceX 実行済

ByteDance CN

OpenAI US

1X Technologies US

Anduril US

フロンティアラボ系
アプリ US

DeepSeek CN

Unitree CN

潜在的な投資機会の例示に過ぎません。特に公表されない限り、保有・コミットメント・アクセスを示すものではありません。



SPACEX

■ AI投資 ・ スポットライト

SpaceX

戦略的インフラへの規律あるエントリー

投資額 ¹	投資価格 ²	現在株価 ³
¥1.97B	\$122	\$153



■ 投資理由

規律ある資本配分

- ✓ 魅力的なエントリーバリュエーション
- ✓ 準独占的なポジション
- ✓ 長期的な構造的成長へのエクスポージャー
- ✓ 当社のAIインフラ投資仮説との整合

■ 戦略的合理性

AIには物理インフラが不可欠

- 📡 衛星通信
- 🌐 グローバル通信ネットワーク
- 🚀 世界の打ち上げの約85%超
- 🏢 国家規模のインフラ

AI時代の物理インフラへの規律ある投資。SpaceXは、次世代AIコンピューティング、国家安全保障および宇宙軍を支える基盤であるとともに、人類を多惑星種へと進化させるという壮大なミッションを推進しています。

:出典：当社TDnet開示資料

注1・2：取得価格には直接発生した当初手数料を含みます。

注3：2026年6月26日終値（153.23米ドル）



FIGURE AI

■ AI投資 ・ スポットライト

Figure AI

投資額	直近ラウンド評価額 ¹	調達額 ²
¥1.15B	~\$39B	~\$1B

■ 投資理由

ソフトウェアを超えるAI

AIの次の段階は、デジタルな知能を超えて物理世界の自動化へと広がります。Figure AIは、実世界のタスクに向けたヒューマノイドロボットを開発しています:

- 🏭 製造
- 🚚 物流
- 🏠 倉庫業務
- 🏢 商業オペレーション

■ 戦略的整合

当社のRaaS戦略との直接的な整合

当社の事業はRobotics-as-a-Service(RaaS)です。Figure AIは、ヒューマノイドロボティクスを世界的に推進する有力プラットフォームへのエクスポージャーであり、以下の整合を強めます:

- ✓ 当社の投資ポートフォリオ
- ✓ 当社の事業
- ✓ 長期的なAI普及トレンド

魅力的なバリュエーションで投資を実行し、Figure AIへの投資により、当社のAI戦略はインフラ領域からフィジカルAI・実世界の自動化領域へと拡大します。

出典：当社TDnet開示資料

注1・2：シリーズCラウンドの資金調達は2025年9月に完了しました。

FY2026 プライベート市場投資における展開の優先領域

1

フロンティアAIインフラ

モデル層および計算資源連動型プラットフォームへのプレIPOエクスポージャー。

2

フィジカルAI・ロボティクス

日本の労働力不足が自然な展開市場を生み出します。

3

自律型防衛AI

国家安全保障はソフトウェア定義型へと移行しています。

4

応用・エージェントAI

コンシューマーおよびエンタープライズでの採用が、継続的な収益機会を生み出します。



アクセス・資本・当社の戦略的ポジションが、株主価値を複利的に高められると考える領域です。

日本が無視できない構造的な供給ギャップ

レアアースは戦略的な優先事項です——当社はこのチェーンの川上ポジションの獲得を追求しています。

供給の集中

中国はNdPrの約92%、重希土類の98~99%を精錬。IEAは採掘の61%、加工の91%を中国が占めるとしています。

出典:Project Blue / InvestingNews;IEA(S&P Global経由)

日本のエクスポージャー

日本はレアアースのほぼ全量を輸入。中国は依然としてその輸入の約60%を供給——2010年の約90%から低下。

出典:Japan Times

価格と供給不足

NdPrは2026年初頭に倍以上に上昇(約\$53→\$126/kg)。供給不足は2年連続。重希土類は中国外で4~6倍のプレミアムで取引。

出典:rare-earth-mining.com;InvestingNews

政策の追い風

2026年6月のG7で、高市首相は2030年までに単一供給国依存度を60%未満とする重要鉱物同盟を推進。

出典:Japan Times;G7首脳声明

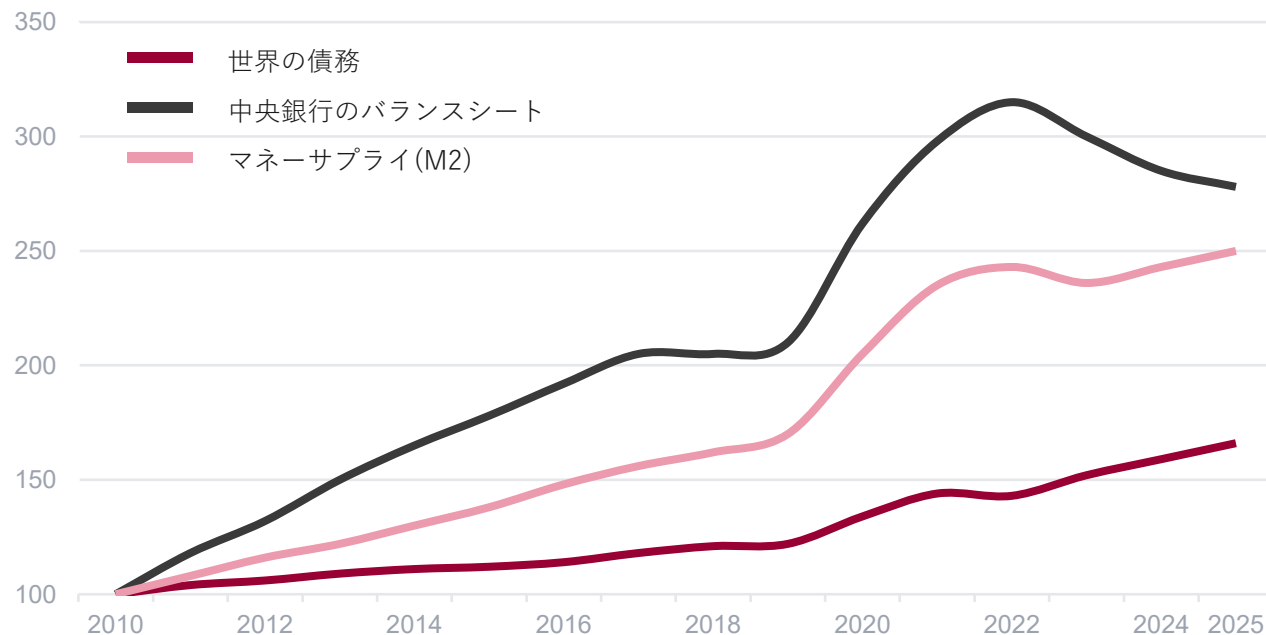


■ FY2026施策 ・ ビットコイン

なぜビットコインが重要か

世界の債務・中央銀行のバランスシート・マネーサプライ(M2)

2010年を100として指数化



出典: IIF Global Debt Monitor, 米連邦準備制度, ECB, 日本銀行, BIS。

\$348T
世界の債務

各国政府は財政赤字と債務水準を拡大し続けており、法定通貨の購買力に対する長期的な圧力が高まっています。

通貨供給の拡大

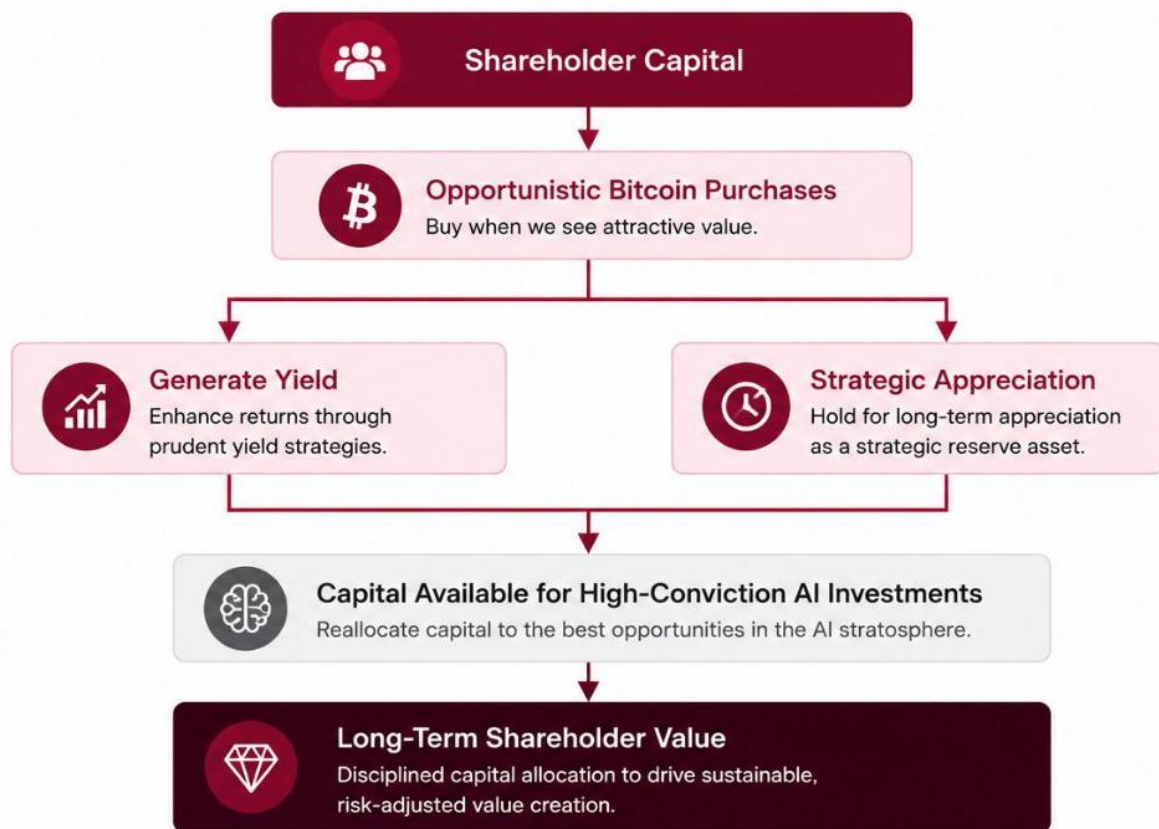
政府と中央銀行が行う法定通貨の供給に絶対的な上限はありません。

21M
BITCOIN

ビットコインは、供給量が恒久的に固定された、世界的に流動性のある唯一の通貨資産です。

当社は、通貨供給が拡大し続ける環境において、ビットコインを長期的な戦略的トレジャリー資本と位置づけています。

戦略的トレジャリー資本としてのビットコイン



選別的に取得

リスク調整後の機会が魅力的だと判断した場合に、ビットコインを取得します。

イールドの創出

取締役会が承認したリスク制限の範囲内で、機関投資家グレードのイールド・ファイナンス戦略を通じて株主リターンの向上を図ります。

資本の再循環

より価値創出的なAI・ブロックチェーン投資機会が生じた際には、ビットコインを現金化します。

株主価値の最大化

ビットコインの保有量はKPIではありません。重要な唯一のKPIは、1株当たりの長期的な本源的価値です。

当社はビットコインの保有量を最大化しているのではなく、ビットコインを戦略的資本として使い、株主価値を最大化しています。

なぜAIエージェントにプログラマブルマネーが必要か

ギャップ

従来の決済ルールは、自律エージェント、機械間決済、プログラマブルな決済を想定して設計されていません。

コンバージェンス

ステーブルコインとブロックチェーン決済ルールは、24時間365日・グローバル・プログラマブルな取引のために構築されています。

\$33T

2025年のステーブルコイン送金額、前年比+72%——Visaに匹敵

出典:DeFiLlama、2025年

\$385B

2030年までに見込まれる、AIエージェント主導の米国Eコマース

出典:Morgan Stanley、2026年

■ 今後の展望 ・ なぜBitcoin Japanか

なぜBitcoin Japanはこのコンバージェンスに適しているか



東証上場というアクセス

AIとブロックチェーンの融合への、規制下で透明性のあるアクセス



ビットコイン・トレジャリーの基盤

当社のビットコイン・トレジャリー戦略は、より広範なデジタル資産経済における機会への足がかりとなります。



AIへのエクスポージャー

当社のAI投資は、エージェント型コマースが生まれる場所への窓となります。



フィジカルAIの事業基盤

RaaSにより当社はバリューチェーンに位置します——ヒューマノイドは初期の機械取引主体となります。

■ 長期ビジョン

FY2029に向けたロードマップ

ホライズン1

FY2025

基盤構築

完了

- 投資に関するJ-SOX強化を完了
- 海外孫会社ストラクチャーが稼働
- 新監査人を選任
- 取締役会を刷新

ホライズン2

FY2026–27

展開

進行中

- SpaceX・Figure AIの投資を実行済み
- プライベート投資のマンデートが稼働

目標(参考値)

- AI関連防衛装備の事業・投資機会を確保
- ビットコイン・トレジャリーの本格稼働

ホライズン3

FY2028–29

統合

目標(参考値)

- レイトステージのプライベート投資ポートフォリオ
- 潜在的な流動性イベントに備えたポートフォリオ¹
- AIおよびRaaSにおける事業運営
- 持続的なEBITDA黒字を達成

1. 流動性イベントの時期と性質は、市場環境および投資先企業の状況に左右されます

■ リスクとガバナンス

リスク管理は戦略に組み込まれている

1 ビットコイン・トレジャリー	価格変動・カストディ・ワールドのカウンターパーティリスクを、機関投資家グレードのカストディ、規律あるポジションサイジング、カウンターパーティ制限により管理
2 プレIPOポートフォリオの実行	投資委員会の承認;リターン基準;プレIPO流動性に備えた長期保有前提、および時間分散
3 RaaSの事業運営	一流アドバイザー;複数OEMによるプロセス;限定的・段階的なスケール
4 レアアース調達の実行	規律ある精査;段階的なコミットメント;条件充足まで資本は投下せず
5 為替・マクロ	コンティンジェンシー・バッファで中程度の変動を吸収;CFOのヘッジ方針

強化されたガバナンス

暗号資産に対応可能な新監査人 ・ 投資に関するJ-SOX強化 ・ クロスボーダー取締役会 ・ 株主との対話向上に向けた四半期IRのコミットメント



基盤構築から 規律ある展開へ

Bitcoin Japanは、AI・ビットコイン、そして次世代テクノロジーサイクルを支えるインフラへの戦略的エクスポージャーを提供する上場プラットフォームを構築しています—あらゆる資本配分の意思決定を、1株当たりの長期的な本源的価値で評価しながら。

基盤構築から規律ある展開へと進む当社へのご支援を、よろしくお願い申し上げます。

PHILLIP LORD 最高経営責任者(CEO) ・ 2026年6月29日

■ 参考資料

出典・参考資料

本資料で引用した外部データの出典。会社予測および参考配分は経営陣の見積りであり、第三者を出典とするものではありません。

■ AI・ロボティクス・労働

AIインフラ設備投資(2030年までに約\$6.7T)— McKinsey

日本の労働力不足(2040年までに約1,100万人)— リクルートワークス研究所

■ デジタル資産・決済

ステーブルコイン送金額(2025年、約\$33T)— DeFiLlama

AIエージェント主導の米国Eコマース(2030年までに約\$385B)— Morgan Stanley

■ レアアース

中国の精錬(NdPr 92%;重希土類 98~99%)— Project Blue

採掘・加工シェア(61% / 91%)— IEA(S&P Global経由)

日本の対中依存(約60%、2010年の約90%から)— Japan Times

NdPr価格(2026年、約\$53→\$126/kg)— rare-earth-mining.com

G7重要鉱物同盟(2030年までに60%未満)— Japan Times

数値は引用元の時点のものであり、変動している可能性があります。RaaSの収益見通し、¥11.1Bの配分、EBITDA黒字化の時期は、いずれも参考ベースで示した経営陣の見積りです。